

## 直線

2 点を線で結ぶことを考える。2 点を結ぶように両方向に伸ばした線を**直線**という。  
2 点の間を線で結んだ線を**線分**という。一方向だけに伸ばした線を**半直線**という。  
点  $A$  と点  $B$  を通る直線を、**直線  $AB$**  と呼ぶ。線分や半直線についても同じ。



点や直線に、アルファベットで名前をつけます。その理由は、、

図の中に点や直線がたくさんあったときに、どの点や直線のことを説明しているか混乱しやすいです。そのため、点や直線に名前を付けることが多いです。名前をつけることで、はっきりと説明ができます。

名前としては、 $A, B, C$  などのアルファベットで名前をつけます。



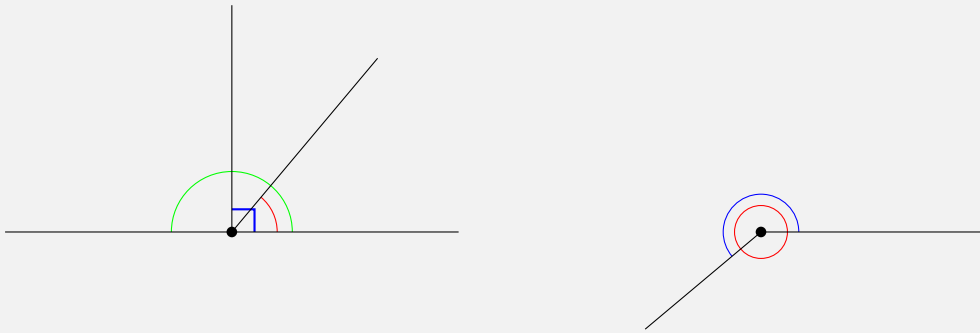
## 中点

線分の真ん中の点を**中点**という。

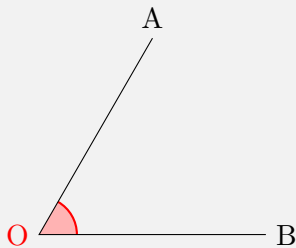


## 角度

角とは、1つの点から2つの線が出ているときにできる、とがった部分のことをいう。線の間の開き具合を**角度**といい、数字と°(度)をつかって表す。  
0度からはじまり、1回転すると360度になる。

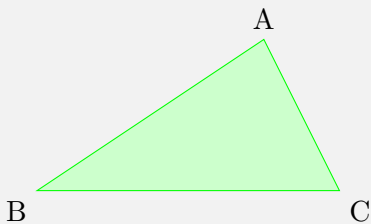


角度は、アルファベット3つを使って表す。前から記号をたどると、一つの角度ができる。  
真ん中の記号が、**とがった点(頂点)**になっている。



## 角と三角形

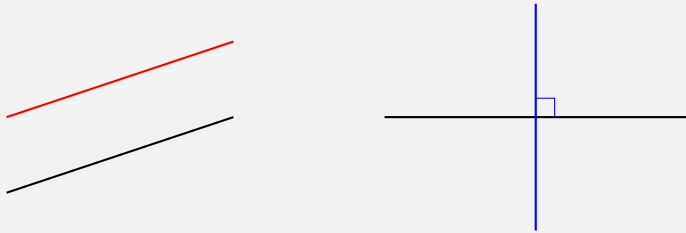
三角形の各頂点に記号をつけて、三角形の名前を決める。  
例えば、各頂点に A,B,C という名前をつけたとき、三角形 ABC と呼ぶ。  
記号では、 $\triangle ABC$  とかく。三角形の頂点の記号は反時計回りにつけることが多い。



## 垂直と平行

2つの直線が交わらないとき、2つの直線は**平行**という

1つの直線にもう一つの直線が直角に交わる時、直線は**垂直**であるという  
線分に垂直に交わり、中点を通る直線を**垂直二等分線**という。



## 距離

